

# 琵琶湖

龍谷大学校友会  
滋賀県支部会報  
創刊号  
2023年6月9日発行



し、滋賀県支部の誕生を喜びました。

続いて、入澤学長から「龍谷大学の今と未来」と題して記念講演をいただき、最後に応援リーダー部から、滋賀県支部にエールをいただきました。

今後は、滋賀県の地域性や個性を活かし、幅広い世代の交流や学びを深めたいと存じます。

## 龍谷大学校友会滋賀県支部 深草学舎顕真館で設立総会を開催

昨年12月18日、深草学舎顕真館において、校友会滋賀県支部の設立総会が開催されました。

年末の多忙な時期にもかかわらず60名近くの校友が集まり、キャンパスツアーや合唱団によるミニコンサートを楽しんだ後、設立総会に臨みました。

設立総会の会場は、厳かな雰囲気の中に、ご都合でご臨席いただけなかつた赤松徹眞校友会長が届けてくださったお花が彩を添えていました。

発起人を代表して、小川信正氏（校友会副会長）の挨拶のあと、議事が進行され、支部会則、支部役員、事業計画、予算が承認されました。初代支部長には、元副学長で元社会学部教授の長上深雪氏が選出されました。そして、校友会副会長の町田徳男氏から、長上支部長へ深みのある紫色の支部旗が授与されました。

来賓を代表して入澤崇学長と町田徳男校友会副会長から祝辞を頂戴した後、全員で学歌を齊唱



支部旗の授与  
(右が町田副会長、左が長上支部長)

## 支部会則を制定

設立総会において、支部会則が承認されました。

おもな内容は、会員相互の研鑽と親睦を図り、あわせて龍谷大学及び校友会ならびに社会の発展に寄与する」とを目的とし、その目的遂行のために、①講演会・研修会・親睦会の事業②龍谷大学及び校友会事業への協力③龍谷大学卒業生の同窓会活動に対する援助事業④広報活動事業などを行なつて参ります。

また、会員は入会を申し出た方とし、対象は校友会員で滋賀県に在住する方だけでなく、滋賀県に勤務する方や、過去に在住や勤務したことがある方も対象にして、門戸を広げています。会費は、年会費千円のほか、終身会費1万円とし、入会時の入金だけで済む形式も取り入れています。

に大変お世話になりましたし、多くの方々のご協力で支部が設立しましたこと、本当に心から御礼申し上げます。

さて、設立総会は12月18日、

深草学舎顕真館において、入澤学長はじめ校友会町田副会長ほか常任理事のみなさまのご出席のことで、厳かに執り行われました。はじめて、これまで活動を支えてこられた先輩方に敬意と感謝を申し上げるものでした。



校友会滋賀県支部  
支部長 長上 深雪

## 支部役員の紹介

【支部長】  
長上深雪（1984年文学研究科）  
【副支部長】  
山川恒雄（1974年経済学部）  
燧士勝徳（1985年文学部）  
室矢直人（1990年法学部）  
堀井和美（1995年文学部）

篠田真智子（1997年経営学部）  
【事務局長】  
安食真城（1988年文学部）  
石原芳典（1995年文学部）  
谷村知佐子（1996年文学部）  
吉田真士（2003年経済学部）  
【会計】  
茶谷 賢雄（2002年文学部）  
【顧問】  
野瀬善隆（1966年文学部）  
芝原玄記（1967年文学部）  
小川信正（1967年文学部）  
藤井勇治（1973年法学部）  
関目六左衛門（1974年文学部）

【監事】  
若林雅子（1998年文学部）  
芝原正記（1998年文学部）  
藤井勇治（1973年法学部）  
関目六左衛門（1974年文学部）  
【監事】  
野瀬善隆（1966年文学部）  
芝原玄記（1967年文学部）  
小川信正（1967年文学部）  
藤井勇治（1973年法学部）  
関目六左衛門（1974年文学部）

支部では今後、吹奏楽部コンサートの鑑賞や、ゴルフコンペ、また地元琵琶湖の観光などのイベントを計画しています。校友のみなさまぜひご入会ください。ご入会について詳しくは、ホームページをご覧ください。  
<https://ryukoku-shiga.com/>



おかげで、わずか2、3ヶ月の間に、発起人会・準備会の設立、理事会・役員会の発足、そして設立総会に向けての準備が電光石火のごとく進んでいきました。その過程では、校友会事務局の乾さん

がご参考くださいました。その

長ははじめ校友会町田副会長ほか常任理事のみなさまのご出席のもと、厳かに執り行われました。はじめて、これまで活動を支えてこられた先輩方に敬意と感謝を申し上げるものでした。

県内では、2008年に校友会中主支部が設立され、これまで活動を展開されてきました。その活動が今回の県支部設立の基盤となつたことはいうまでもありません。中主支部現会長の石原さんはじめ、これまで活動を支えてこられた先輩方に敬意と感謝を申し上げるものでした。

おかげで、わざか2、3ヶ月の間に、発起人会・準備会の設立、理事会・役員会の発足、そして設立総会に向けての準備が電光石火のごとく進んでいきました。その過程では、校友会事務局の乾さん

がご参考くださいました。その

長はじめ校友会町田副会長ほか常任理事のみなさまのご出席のもと、厳かに執り行われました。はじめて、これまで活動を支えてこられた先輩方に敬意と感謝を申し上げるものでした。

県内では、2008年に校友会中主支部が設立され、これまで活動を展開されてきました。その活動が今回の県支部設立の基盤となつたことはいうまでもありません。中主支部現会長の石原さん

はじめ、これまで活動を支えてこられた先輩方に敬意と感謝を申し上げるものでした。

&lt;p